

日本大学通信教育部校友会 第50回定期総会 議案



令和3年5月22日（土）

日本大学通信教育部校友会

第 5 0 回定期総会 議案一覧

- | | | |
|---------|----------------|----------------|
| 第 1 号議案 | 各部報告 | 令和 2 年度総務部活動報告 |
| | | 令和 2 年度組織部活動報告 |
| | | 令和 2 年度広報部活動報告 |
| | | 令和 2 年度財務部活動報告 |
| | | 令和 2 年度渉外部活動報告 |
| 第 2 号議案 | 令和 2 年度事業報告 | |
| 第 3 号議案 | 令和 2 年度決算報告 | |
| | 令和 2 年度監査報告 | |
| 第 4 号議案 | 令和 3 年度事業計画（案） | |
| 第 5 号議案 | 令和 3 年度予算（案） | |

以上

第 1 号議案

令和 3 年 5 月 2 2 日

令和 2 年度総務部活動報告

総務部長 肱岡堅一

1 総務委員会

新型コロナウイルス感染症の蔓延による感染防止のため、残念ながら委員会の開催はできませんでした。

2 ホームカミングデー

新型コロナウイルス感染症の蔓延による感染防止のため、中止しました。

(参考) 令和 2 年度通信教育部集夏祭も中止された。

3 その他

(1) 新年会 令和 3 年 1 月 2 3 日 中止

(2) 三役会と常任役員会は、下記の日程で開催・中止された。

(ア) 三役会	第 1 回	令和 2 年	5 月 2 3 日	中止
	第 2 回	令和 3 年	1 月 2 3 日	中止
(イ) 常任役員会	第 1 回	令和 2 年	4 月 1 7 日	中止
	第 2 回	令和 2 年	6 月	中止
	第 3 回	令和 2 年	9 月 1 8 日	
	第 4 回	令和 2 年	1 1 月 2 0 日	
	第 5 回	令和 3 年	1 月 1 5 日	中止
	第 6 回	令和 3 年	3 月 2 6 日	

以上

第 1 号議案

2021年5月22日

令和2年度組織部活動報告

組織部長 鎌子 健

先日、2回にわたり、日本大学通信教育部校友会の「今後の組織体制の在り方」についてアンケートで確認させていただきました。各ブロック、各支部より93%の方々から回答がございましたので最終報告としてまとめさせていただきました。詳細は添付資料「別紙1」の通りです。

<アンケート結果>

- 1 案「現状維持」を希望する支部 77%
(将来移行検討案を差し引くと72%)
- 2 案「支部同士の合併あり」を希望する支部 13%
(将来移行検討案を加味すると15%)
- 3 案「ブロックを1支部とする」を希望する支部 1%
(将来移行検討案を加味すると2%)
- 4 案「ブロック同士の合併あり」を希望する支部 1%
(将来移行検討案を加味しても1%)
- その他案 を希望する支部 8%
(将来移行検討案を加味すると10%)

1 案は、現状は参加者の固定化・高齢化・後継者不足などが根底にあるので、このまま活動エリアを拡大すれば現役員の負担が重くなり支部活動の衰退が加速する可能性が大きい。又、県単位の支部活動の伝統を守りたい、他県まかせにしたくないので県単位で頑張りたいなどと捉えている支部も見受けられます。

2 案では「支部活動には濃淡があり活発な支部は、隣接した活動の弱い支部を支援しても良いのでは」「休眠支部には声をかけ続けることが重要」「大学院修了生も加え校友の掘り起こし出来ないか」との意見も見られます。

その他の案は、本部一本化又は all 日大の支部に加入するなどの意見もありました。

<組織体制の結論>

今後の組織体制の在り方は、各都道府県の支部「現状維持」の1案を引き続き継続する。

第 1 号議案

<所感>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の拡大により支部活動はかなり制限されてしまいましたが、ワクチンと治療薬により、令和4年度を迎えるころには、以前のような支部活動を取り戻せると期待しています。しかし変異ウィルスが猛威を振るっている現状が長期化する場合は、リモートを使った支部活動も検討する段階に入ってきたのかもしれませんが。暗いトンネルの向うには必ず明るい青空があることを信じて現在を乗り切って頂ければと思います。

<今後の希望>

1. 2案支持が13%ありますので、活発な活動をされている支部は、ブロック内の近隣支部との交流を可能な範囲で進められないか。共に活性化出来ればと望んでいます。
2. 休眠支部地域内にお住いの各校友で支部活動に参加したい方がいらっしゃれば、本人の意思を確認しながら、近隣の活発な支部で受け入れて貰えないか…
3. 移動なくコロナ感染リスクもないリモートを利用した会合などの検討が出来ないか…

日本大学通信教育部校友会発展のため、色々なご意見を伺いながら進められたらと思います。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

以上

今年3月、日本大学通信教育部校友会の「今後の組織体制の在り方」について「現在までの検討状況又は考え」をアンケートで最終確認(中間回答含)させて頂きました。各ブロック、各支部より93%の方々から回答がございましたので下記の通りまとめさせて頂きました。

● アンケートの回答結果 (最終報告)

- A 休眠支部を含めた総支部 60支部
 B 休眠支部を除きアンケートを依頼した支部 42支部 B/A=70%
 C 期日までに回答を頂いた支部 39支部 C/B=93% (未回答=7%)

各案	回答案	(意見割れた支部)	回答案計	比率	他案への意見	他案含比率
1案(現状維持を望む)	30支部	25支部	30.25支部	77%	いずれは他の	72%
2案(支部同士の合併あり)	5支部	25支部	5.25支部	13%	案も検討せざるを得ない。との意見もある。それを加味すると、	15%
3案(ブロックを1支部とする)	0支部	25支部	0.25支部	1%		2%
4案(ブロック同士の合併あり)	0支部	25支部	0.25支部	1%		1%
その他案(支部&ブロック廃止 本部1本化)	3支部		3支部	8%		10%

今回はアンケートの最終報告です。

結果は1案を希望する支部が77%です。将来移行検討案を差し引いても72%に達しています。1案の現状維持は、中間報告の時より比率で3%増加しています。多くの方々の熟慮の末の結果であると思われます。

一方、支部活動には濃淡があり、活発な支部は、隣接した活動の弱い支部を支援しても良いのではとの意見である2案を希望する支部は13%となりました。

その他の案としては、本部一本化又はall日大の支部に加入するなどの意見もありました。

● アンケートの詳細(最終報告)

* 下記氏名はアンケートを依頼した方です。

1	北海道ブロック	不在				
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合	
1)	石狩支部	作田良子支部長	1案	支部の活性化を望むなら支部の地域拡大は出来ない。又、役員選出に本当に苦慮しています。近い将来は広報配布のみの活動になるのであれば本部一本化との意見多い。新卒の校友会入会時にどの支部に入るか選択してもらうことを希望。		
2)	上川支部	加藤正之支部長	1案	参加者の固定化・高齢化につき活動見通しが相当困難と思われる。		
3)	後志支部	須藤克美支部長代行	1案	現行通り活動していきたい。	個人意見	
4)	宗谷支部	不在				
5)	網走(オホーツク)支部	不在				
6)	根室支部	不在				
7)	留萌支部	不在				
8)	空知支部	不在				
9)	十勝支部	不在				
10)	釧路支部	不在				
11)	胆振支部	不在				
12)	日高支部	不在				
13)	檜山支部	不在				
14)	渡島支部	不在				
2	東北ブロック	佐藤朋夫ブロック長(秋田)				
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合	
1)	青森県支部	奥野賢一支部長	1案	現在でも集まりが悪いのに合併になればもっと悪くなる。	個人意見	
2)	岩手県支部	櫻庭豊太郎支部長	1案	エリアを拡大すると増々参加者が減少する。	個人意見	
3)	宮城県支部	不在				
4)	秋田県支部	佐藤朋夫支部長	1案	細々ながら集まった会員は楽しく交流しているので継続したい。会員の年齢、出身地など考えると今以上にエリアを広めての体制作りは困難点が多い。	個人意見	
5)	山形県支部	大塚勝衛支部長	1案	現在の活動比63%を声かけあって前進していきたい。	個人意見	
6)	福島県支部	矢吹好憲支部長	1案	継続は力なり。		
3	北信越ブロック	館 聖ブロック長(富山)				
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合	
	ブロック長	館 聖ブロック長(富山)	1案	50年まで1案で頑張る。その後2案か3案を検討する。	個人意見	
1)	長野県支部	名古 悟支部長代行	1案	数年前に支部内で検討済のため		
2)	新潟県支部	入田義雄支部長	1案	2案～4案では無理がある(更に会の衰退が加速化する)		
3)	富山県支部	古岡一治支部長	1案	支部には参加するがブロックには参加しない人が多く現状維持が妥当。	個人意見	
4)	石川県支部	中橋傳治支部長	2案	支部活動に濃淡あるのは事実。活発な支部は応援し、休眠支部は合併等で手当てを。	個人意見	
5)	福井県支部	不在				
4	関東ブロック	金子栄輔ブロック長(東京)				
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合	

1)	茨城県支部	不在			
2)	栃木県支部	大島常行支部長	1案	役員高齢化&後継者見つからないのが現状であるが、困難な状況体制で努力するしかない。	
3)	群馬県支部	不在			
4)	埼玉県支部	五十嵐美奈支部長	その他案	現在支部活動不可状態で閉会の危機。世代交代で若い女性役員も増やし活気あふれるものにする必要あり。	個人意見
5)	千葉県支部	行木 孝支部長	1案	支部年会費の固定的な納入者が多くその方々の支部に対する信頼を継続させたい。	
6)	東京都支部	金子栄輔支部長	その他案	新規加入者がここ10年ほぼ無い。卒業生が校友会に興味なく存在を認めていない。よって支部もブロックもやめ、本部1本化でどうか(大学側の今以上の協力が無い限り)。その後の校友会活動は all日大の支部に加入する。	
7)	神奈川県支部	黒澤大治支部長	1案	2案も良いと思うが神奈川は支部活動を再開中のため今の支部としては様子見。3・4案は検討外。	
8)	山梨県支部	不在			
5	東海ブロック	藤澤隆一ブロック長(岐阜)			
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合
1)	岐阜県支部	藤澤隆一支部長	各案1/4	県内の校友の意見を確認したら1案〜4案まで25%づつで別れた。	
2)	静岡県支部	後藤正治支部長 田中由雄支部長代行	1案	確認した県内の多くの校友の意見は「現状維持で活動したい」との考えが強い。	
3)	愛知県支部	藤田 茂支部長	1案	今ある組織を強化するしかない。2,3,4案は今活動している人の負担が重くなる。全県に校友会がある必要性はないと思われる。	
4)	三重県支部	大形 弘支部長	1案	高齢化ですが当支部は頑張っている。	
6	近畿ブロック	立花初代ブロック長(奈良)			
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合
1)	滋賀県支部	不在			
2)	京都府支部	山本新一支部長	1案	2案、3案、4案になっても同じである。現状の中で努力した方が良いと思う。	
3)	大阪府支部	矢田健一郎支部長	1案	確認した校友の約半分は現状維持を望んでいる。私も1案に近い。役員高齢化&若い世代の後継者見つからず世代交代が出来ない。2案や3案前提で話を進めるにしても1案が避けて通れないのではないかな。	
4)	兵庫県支部	前田忠義支部長			
5)	奈良県支部	立花初代支部長	1案	今年はコロナの影響なので現状維持。いずれは3案と思うが、まだ時期尚早。	
6)	和歌山県支部	不在			
7	中国ブロック	谷川正徳ブロック長(広島)			
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合
1)	鳥取県支部	不在			
2)	島根県支部	坂本育穂支部長	1案	他案にも問題無きにしてもあらず。	
3)	広島県支部	谷川正徳支部長	1案	今なすべきことは、困難はあっても校友会の原点に帰れば意識が変わると思う。支部の活動状況は20年前と比べても悪くない。更なる強化も望める。	個人意見
4)	岡山県支部	安藤 豊支部長代理	1案	今までの伝統を守りたい。各支部が工夫しながら頑張るしかない。	
5)	山口県支部	佐伯和夫支部長	2案	今後、ブロック総会等において弱小支部対策も協議する必要あると思う。休眠支部への配慮及び独立自立支援が必要。	
8	四国ブロック	土井榮次ブロック長(徳島)			
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合
1)	香川県支部	木村 進支部長代行	1案	支部会員の回答で多数意見による。	
2)	徳島県支部	土井榮次支部長	1案	交通手段が悪く拡大集会では移動時間、経費など負担増加。少ない方が良い。	
3)	愛媛県支部	山崎孝明支部長	1案	現行で頑張るしかないと思う。他人まかせには出来ない。	
4)	高知県支部	和田 明支部長代行	1案	取り組み弱くとも現状で頑張るべし。2案になればギリギリになるのではないかな。休眠支部に対する本部の更なる対策を望む。← 前支部長時の結論	
9	九州ブロック	古市重喜ブロック長(鹿児島)			
	支部名	支部長等	選択<案>	主な意見	個人意見の場合
1)	福岡県支部	馬目浩太郎支部長			
2)	佐賀県支部	松尾志郎相談役	1案	理由未記入	
3)	長崎県支部	久野幸雄支部長	2案	当支部を含め九州各支部はいつ休眠に転じるかという危機感にはぬぐえない。県域を越えた参加があっても良いのでは…	個人意見
4)	熊本県支部	荒木利八支部長	2案	現状では無理が生じる。ブロック毎では広範囲すぎる。	
5)	大分県支部	湯浅 至支部長 中屋敷裕一幹事	2案	高齢化等により大分県単独での会が開けない。	
6)	宮崎県支部	青木眞州男支部長	その他案	本部一本化とする東京都支部に賛同する。現支部長は連絡員の位置づけ	
7)	鹿児島県支部	古市重喜支部長	1案	休眠支部を取り込むことにより活動支部の負担が大きくなり役員のなり手が居なくなる。	個人意見
8)	沖縄県支部	宮城政三郎支部長			

第 1 号議案

令和 3 年 5 月 2 2 日

令和 2 年度広報部活動報告

広報部長 師田 袈裟茂

会則による広報部の活動報告（細則第 1 章 専門部第 1 条の 3）

1 会報発行

会報発行 通常年 2 回（新年号 1/1 付、総会号 7/1 付）

但し、本年度は後述の事情により総会号（10/1 付）の発行 1 回のみとなった。

		第 97 号（2/10/1）総会号
配布先	各支部（※新卒生含む）	3,903 部
	準会員スクーリング時閲覧用	200 部
	校友会正会員（※通信教育部校友会所属） ^{（注）}	14 部
	活動休止支部卒業生（※卒業後 2 年間送付）	45 部
	通信教育部・校友会本部・他学部校友会	137 部
合 計		4,299 部

（注）但し、本会の各支部には所属していない者。

	第 97 号（2/10/1）総会号
会報発行総部数	4,500 部
会報印刷費	308,000 円 （※ P D F データ代を含む）
協賛広告数（1 口 10,000 円）	17 件 180,000 円

2 会員名簿の作成

各支部は新卒生に連絡し、支部の活性化をはかる。

※新卒生への 2 年間の会報発送を支部に依頼。

3 準会員への会報配布

学生ホール（通信教育部 1 号館 1 階ロビー）に会報を設置し、スクーリング時に学生の閲覧に供する。

4 情報・速報を事務局に依頼

① ホームページ内に会報最新号を掲載し、活動休止部会員及び関係者の閲覧に供する。

通信教育部校友会ホームページ <http://www.nudld-koyukai.sakura.ne.jp/wp/>

② 会報掲載用の原稿・写真等の投稿用メールアドレスの公開。

原稿投稿用メールアドレス kaihou@nudld-koyukai.com

- ③ 会報送付先の住所変更、送付停止要請などを事務局に報告。

5 会報掲載事項等

- ① 支部会報の特色ある掲載記事について、承諾を得て会報に転載。
- ② 叙勲・表彰者のお知らせ、本部及び各ブロック・支部の訃報の掲載。
- ③ 準会員（在学生）の投稿依頼により掲載（通信教育部の承諾が必要）。
- ④ 各ブロック・支部の総会報告の掲載。
- ⑤ 名刺広告の掲載。

会報 97 号の発行の遅れについて

会報第 97 号の編集については、新型コロナウイルスの感染拡大への対応のため、本会事務局での作業が制限された影響により、例年のスケジュール通りには進捗せず、その為当該号の 7 月 1 日付の発行は困難となり遅延した次第です。会報 97 号は総会号であり、総会の報告事項等を会員に周知するため、編集委員の体調とともに、印刷業者の業務状況も確認した上で、検討の結果、3 か月遅れの 10 月 1 日付にて発行しました。

（会報 97 号 編集後記 参照）

会報 98 号の発行延期について

会報 98 号の発行については、会報 97 号にも掲載されていますが、コロナ禍の中であり状況を見極める必要もあり、令和 3 年 1 月 1 日から同年 7 月 1 日に延期します。

（会報 97 号 鈴木勝会長による告知記事 参照）

以上

第 1 号議案

令和 3 年 5 月 2 2 日

令和 2 年度財務部活動報告

財務部長 吉澤 幸夫

【1】財務基盤の確立

（1）役員年会費の回収

通信教育部校友会の本部役員の皆様に対して年会費の納入をお願いするとともに、未納金については納付期限までにできるだけ回収するよう努める（令和 2 年度予算における計上額 1 2 0 万円）。未納者には適宜、納付していただくようお願いする。

【2】その他の財務に関する検討事項

（1）日本大学校友会正会員還付金の増加策

日本大学校友会（本部）の正会員のうち、通信教育部の卒業生については、所属の支部・部会を「通信教育部校友会」とご登録いただくようお願いする。この措置により、校友会本部からの正会員還付金の増額を図る（令和 2 年度予算における計上額 4 2 万円）。

具体的な登録手続きについては、日本大学校友会の正会員費の払込書用紙の規定の欄に「通信教育部」とご記入いただくことにより、通信教育部校友会への所属を継続していただく。

たとえば、通信教育部において法・文理・経済・商の各学部を卒業したために、上記の払込書用紙の規定の欄に、それぞれ「法学部」「文理学部」「経済学部」「商学部」と記入した場合は、各学部校友会に還付金が配分されることになるので、これらの点について十分に注意喚起を行いながら、日本大学校友会正会員の入会促進に努める。

また、組織部とも協力して該当者の発掘に努める。

（2）役員年会費収入の減少を受けての収入増加策

年会費収入の減少に対して、本会の活動費の支出内容を精査し、経費の節約・減額を検討する。また、各会員や各支部・各ブロックなどに対して、会報への広告掲載を積極的に働きかけるなど、収入の増加を図っていく。

以上

第 1 号議案

令和 3 年 5 月 2 2 日

令和 2 年度渉外部活動報告

渉外部長 鈴木 孝司

本年度はコロナ禍により、各ブロックとの情報交換、校友会学部別部会（他学部校友会・同窓会）との交流、通信教育部との情報交換につきましては、大半において中止または延期となっております。

通信教育部の 9 月卒業学位記伝達式、3 月卒業学位記伝達式に関しましては、学校側の要請により鈴木会長の参列は見合わせました。

以上

令和2年度 事業報告

年月日			行事	出席者／場所
令和2年	4月	4日	入学式（中止）	——
		17日	第1回常任役員会（中止）	——
		18日	工学部校友会総会（懇親会中止）	——
		19日	千葉県支部役員会（紙上／支部総会提案議事検討）	——
		29日	広島県支部総会（中止）	——
		——	埼玉県支部総会（紙上会議）	参加45名
		——	長野県支部総会（延期）	——
	5月	15日	法学部校友会総会（懇親会中止）	——
		19日	監査	監査1名含む2名出席／通信教育部3号館
		23日	第1回三役会（紙上会議）	——
		23日	第49回定期総会（紙上会議）	——
	6月	6日	佐賀県支部総会（中止）	——
		13日	商学部校友会総会（中止）	——
		19日	理工学部校友会総会（懇親会中止）	——
		20日	生産工学部校友会総会（中止）	——
		20日	芸術学部校友会総会（懇親会中止）	——
		21日	松戸歯学部同窓会総会（延期）	——
		28日	薬学部校友会総会（中止）	——
		——	第2回常任役員会（中止）	——
		——	青森県支部総会（中止）	——
	7月	4日	国際関係学部校友会総会（懇親会中止）	——
		11日	生物資源科学部校友会総会（中止）	——
		12日	香川県支部総会（紙上総会）	参加25名
	9月	6日	愛媛県支部総会	4名出席／松山市・えひめ共済会館
		12日	高知県支部総会	3名出席／高知市・高知会館
		18日	第3回常任役員会	鈴木会長はじめ12名出席／通信教育部1号館
		26日	近畿ブロック総会（大阪府支部／中止）	——
	10月	1日	会報97号発行	——
		1日	高知県臨時支部総会（通信総会）	参加70名
		3日	東海ブロック総会（静岡県支部／中止）	——
		3日	三重県支部総会	2名出席／伊勢市福祉健康センター
		10日	九州ブロック総会（長崎県支部／中止）	——
		10日	大学院支部総会（オンライン）	参加約25名
		11日	北信越ブロック総会（新潟県支部／中止）	——
		15日	鹿児島県支部総会（紙上総会）	——
		17日	9月卒業学位記伝達式	通信教育部からの要請により出席見合せ
		25日	四国ブロック総会（高知県支部）	瀬川通信教育部事務局長・鈴木会長出席／高知市・三翠園

第2号議案

令和3年		29日	秋田県支部総会（書面表決）	参加114名	
	11月	7日	長崎県支部総会（オンライン）	参加6名	
		13日	青年部（仮称）会合	北村幹事長はじめ5名出席／通信教育部3号館	
		17日	校友会有志による意見交換会（忘年会）	鈴木会長はじめ7名出席／東京都杉並区・ちゃんこ料理たなか	
		20日	第4回常任役員会	鈴木会長はじめ11名出席／通信教育部1号館	
		22日	奈良県支部総会	4名出席／花大和	
		12月	5日	山口県支部総会	6名出席／山口市・山口県婦人教育文化会館
	1月	10日	医学部同窓会新年交歓会（中止）	――	
		15日	第5回常任役員会（中止）	――	
		16日	芸術学部校友会新年会（中止）	――	
		23日	第2回三役会（紙上会議）	――	
		23日	通信教育部校友会新年会（中止）	――	
		31日	歯学部同窓会新年会（中止）	――	
		――	宮崎県支部総会（書面郵送による表決）	参加13名	
		3月	3日	大阪府支部総会（紙面総会）	――
			17日	島根県支部役員会（総会開催せず）	5名出席／サンラポーむらくも
			25日	卒業式・学位記伝達式	鈴木会長出席／日本武道館（日本大学卒業式）
	26日		第6回常任役員会	鈴木会長はじめ9名出席／通信教育部1号館	
	――		岐阜県支部総会（郵送による開催）	参加10名	
		文理学部校友会総会（中止）	――		
		東北ブロック総会（山形県支部／中止）	――		
		関東ブロック総会（埼玉県支部／中止）	――		
		中国ブロック総会（広島県支部／中止）	――		
		北海道石狩支部総会（中止）	――		
		岩手県支部総会（書面決議）	――		
		山形県支部総会（中止）	――		
		栃木県支部総会（休み）	――		
		新潟県支部総会（中止）	――		
		富山県支部総会（休み）	――		
		静岡県支部総会（文書総会審議）	――		
		京都府支部総会（休み）	――		
		兵庫県支部総会（休み）	――		
		岡山県支部総会（休み）	――		
		沖縄県支部総会（休み）	――		

日本大学通信教育部校友会
令和2年度 収支決算書（第50期）

【 一 般 会 計 】
収 入 の 部

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

（単位：円）

科 目	2年度予算(A)	2年度決算(B)	差 異(A-B)	備 考
前 期 よ り 繰 越	3,140,596	3,140,596	0	
会 費 収 入	10,120,000	8,713,000	1,407,000	
準 会 員 還 付 金	7,600,000	7,350,000	250,000	準会員6939名（学部6802名、大学院137名）※3月期含まず
正 会 員 還 付 金	420,000	327,000	93,000	正会員109名分
役 員 年 会 費	1,200,000	976,000	224,000	会費納入85名分
総 会 ・ 新 年 会 収 入	800,000	0	800,000	
寄 付 金 収 入	100,000	60,000	40,000	三役会・総会寄付金
雑 収 入	3,902,000	171,812	3,730,188	
会 報 広 告 収 入	600,000	170,000	430,000	会報97号の会報広告料
受 取 利 息 収 入	2,000	312	1,688	郵便貯金・三井住友銀行・定期預金
そ の 他 の 収 入	3,300,000	1,500	3,298,500	
積 立 金 よ り 繰 入	0	0	0	
合 計	17,162,596	12,025,408	5,137,188	

支 出 の 部

科 目	2年度予算(A)	2年度決算(B)	差 異(A-B)	備 考
事 業 費 支 出	7,330,000	3,336,854	3,993,146	
総 会 ・ 新 年 会 費	1,700,000	33,200	1,666,800	昨年度経費支払い、会場キャンセル料
ブ ロ ッ ク 補 助 金	300,000	30,000	270,000	1ブロック分（1ブロック×3万円）
支 部 総 会 補 助 金	1,200,000	660,000	540,000	22支部補助金、（1支部×3万円）
会 報 発 行 費	1,490,000	655,704	834,296	会報印刷代、発送費（年1回）、会報発送補助費（支部へ）
準 会 員 支 援 費	2,600,000	1,957,950	642,050	卒業記念品代、過去問印刷費、校友会会長賞記念品代
特 別 委 員 会 活 動 費	40,000	0	40,000	
運 営 費 支 出	6,370,000	3,712,778	2,657,222	
人 件 費	2,500,000	2,161,775	338,225	事務職員人件費、アルバイト代
消 耗 品 費	50,000	27,997	22,003	事務消耗品
通 信 費	350,000	233,976	116,024	封筒ハガキ代、郵送費、宅配費、電話代
旅 費 交 通 費	1,600,000	388,980	1,211,020	役員会等出席者交通費他
印 刷 費	70,000	104,408	△ 34,408	封筒・ハガキ印刷代、トナー代、名刺印刷費
会 議 費	230,000	92,994	137,006	常任役員会・事務打ち合わせ他
懇 親 会 費	150,000	54,000	96,000	大学・他学部校友会役員等との懇親会費等
慶 弔 ・ 渉 外 費	600,000	33,300	566,700	香典代、感謝状筆耕代、記念品他
総 務 部 活 動 費		0		総務部活動費
組 織 部 活 動 費		0		組織部活動費
広 報 部 活 動 費	100,000	0	100,000	広報部活動費
財 務 部 活 動 費		0		財務部活動費
渉 外 部 活 動 費		0		渉外部活動費
雑 費	50,000	30,180	19,820	振込手数料他
本 部 校 友 会 分 担 金	470,000	470,000	0	本部校友会に納金（令和2年度分）
130 周 年 記 念 事 業 募 金	100,000	100,000	0	日本大学130周年記念事業寄付金
ホ ー ム ペ ー ジ 費	100,000	15,168	84,832	ホームページ維持・管理費
予 備 費	100,000	0	100,000	
校 友 会 創 立 5 0 周 年 準 備 金 へ 繰 入	100,000	100,000	0	定期預金に積立
小 計	13,900,000	7,149,632	6,750,368	
次 期 繰 越	3,262,596	4,875,776	△ 1,613,180	千普通3,085,173円、三井住友銀行1,466,093円、振替口座183,376円、現金141,134円
合 計	17,162,596	12,025,408	5,137,188	

【 特 別 会 計 】

項 目	金 額	摘 要
第30期繰入 積立金	1,000,000	ゆうちょ銀行三年定期貯金
創立50周年積立金	100,000	第50期創立50周年準備金 ゆうちょ銀行一年定期貯金
創立50周年積立金	200,000	第38期創立50周年準備金 ゆうちょ銀行一年定期貯金
創立50周年積立金	400,000	第37期創立50周年準備金 ゆうちょ銀行一年定期貯金
合 計	1,700,000	

監査報告書

日本大学通信教育部校友会監査(以下監査人という)は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第50期における日本大学通信教育部校友会本部(以下本部という)執行役等の職務の執行に関して監査人が確認した結果に基づき、審議の上、以下の通り本監査報告書を作成し、報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監査人は、監査の要領に従い、令和2年5月23日の第49回定期総会(紙上)で承認された令和2年度事業計画に基づいて、監査人に提出された令和2年度事業経過報告とを照合し、当該事業に対しての決裁書類を含め、その執行状況を確認しました。

さらに会計業務に関して、会計帳簿における現金残高及び特別会計に計上されている積立金を含む預貯金残高は、それぞれ、現金在高及び金融機関が発行する預貯金残高証明書をもって確認しました。

収支決算書における収支の状況は、日本大学通信教育部校友会会則及び細則等(以下会則及び細則等という)によって適正に処理されているかを精査しました。

2 監査の結果

(1) 会務の監査報告

令和2年度事業経過報告及びその他の職務執行事項は、会則及び細則に基づいて適正に執行されたものと認めます。

(2) 会計の監査結果

収支決算書は、本部の財産及び収支状況が適正に表示されているものと認めます。

令和3年5月14日

日本大学通信教育部校友会

監査 川熊長子

監査 高垣むつ子



監査 大西由花

第4号議案

令和3年度 事業計画（案）

年	月	日	本部行事	日	ブロック行事	日	支部行事
令和3年	4	8	入学式			25	広島県支部総会（紙上）
		17	工学部校友会総会（懇親会中止）				
		23	第1回常任役員会（中止）				
	5	14	監査			29	佐賀県支部総会
		14	法学部校友会総会（懇親会中止）				
		22	第1回三役会（紙上会議）				
		22	第50回定期総会（紙上会議）				
	6	5	商学部校友会総会（中止）			15	秋田県支部総会（書面）
		12	文学部校友会総会（懇親会中止）			中旬	青森県支部総会（中止）
		19	生産工学部校友会総会（懇親会中止）			20	香川県支部総会
		20	松戸歯学部同窓会総会（懇親会中止）			未定	埼玉県支部総会（書面）
		25	理工学部校友会総会（懇親会中止）				
		27	薬学部校友会総会（懇親会中止）				
		未定	第2回常任役員会				
	7	1	会報98号発行（延期）			1	新潟県支部総会（紙上）
						11	千葉県支部総会
	9	未定	第3回常任役員会	25	近畿ブロック総会（大阪府）	5	愛媛県支部総会
						12	高知県支部総会
	10	未定	9月卒業学位記伝達式	9	九州ブロック総会（長崎県）	2	静岡県支部総会
				23	東北ブロック総会（山形県）	9	長崎県支部総会
						10	大学院支部総会
						16	三重県支部総会
						23	山形県支部総会
						未定	宮崎県支部総会
	11	1	経済学部校友会祝賀会				
		未定	第4回常任役員会				
	12					4	山口県支部総会
						未定	岐阜県支部総会（郵送）
令和4年	1	1	会報99号発行				
		未定	第5回常任役員会				
		22	第2回三役会				
		22	通信教育部校友会新年会				
	2					未定	鹿児島県支部総会
	3	未定	第6回常任役員会			5	大阪府支部幹事会議
		25	卒業式・学位記伝達式			7	兵庫県支部総会
						未定	島根県支部総会
				未定	関東ブロック総会	未定	北海道石狩支部総会
				中止	北信越ブロック総会	未定	岩手県支部総会
						未定	栃木県支部総会
						未定	長野県支部総会
						未定	京都府支部総会
						未定	奈良県支部総会
						休み	富山県支部総会
						休み	岡山県支部総会
						休み	沖縄県支部総会

日本大学通信教育部校友会
令和三年度 収支予算（第51期）案

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

【 一 般 会 計 】
収 入 の 部

(単位:円)				
科 目	令和3年度予算	令和2年度予算	増 減	備 考
会 費 収 入	10,120,000	10,120,000	0	
準 会 員 還 付 金	7,600,000	7,600,000	0	準会員総数7,120名(学部)+160名(大学院3,000円/1人)
正 会 員 還 付 金	420,000	420,000	0	正会員(140名) 3,000円/1人
役 員 年 会 費	1,200,000	1,200,000	0	校友会役員年会費
総 会・新 年 会 収 入	800,000	800,000	0	総会懇親会費・新年会会費
寄 付 金 収 入	100,000	100,000	0	会報支援費他
雑 収 入	3,902,000	3,902,000	0	
会 報 広 告 収 入	600,000	600,000	0	会報第98号・第99号の広告料
受 取 利 息 収 入	2,000	2,000	0	ゆうちょ銀行・三井住友銀行
そ の 他 の 収 入	3,300,000	3,300,000	0	総会祝金・新年会祝金、本部校友会補助、過去問売上(R2)他
積 立 金 より 繰 入	0	0	0	
小 計	14,022,000	14,022,000	0	
前 年 度 繰 越 金	4,000,000	3,140,596	859,404	※令和3年度予算は現時点では概数
合 計	18,022,000	17,162,596	859,404	

支 出 の 部

科 目	令和3年度予算	令和2年度予算		備 考
事 業 費 支 出	7,330,000	7,330,000	0	
総 会・新 年 会 費	1,700,000	1,700,000	0	会場・懇親会費、来賓土産・新年会・ホームカミングデー他
ブ ロ ッ ク 補 助 金	300,000	300,000	0	8ブロック(3万×8ブロック)、隣接ブロック招待者交通費
支 部 補 助 金	1,200,000	1,200,000	0	59支部のうち40支部分
会 報 発 行 費	1,490,000	1,490,000	0	会報印刷代・発送費(年2回)・発送補助費(各支部へ)
準 会 員 支 援 費	2,600,000	2,600,000	0	卒業記念品、準会員へ会報印刷・発送、校友会長賞、過去問印刷
特 別 委 員 会 活 動 費	40,000	40,000	0	箱根駅伝特別委員・その他特別委員の会費他
運 営 費 支 出	6,970,000	6,370,000	600,000	
人 件 費	2,500,000	2,500,000	0	事務職員人件費・アルバイト代
消 耗 品 費	50,000	50,000	0	事務消耗品
通 信 費	350,000	350,000	0	電話代・切手はがき代・郵送費・宅配費
旅 費 交 通 費	1,600,000	1,600,000	0	総会・ブロック会・三役会等に規定の旅費補助
印 刷 費	70,000	70,000	0	封筒・はがき印刷代・トナー代・名刺印刷他
会 議 費	230,000	230,000	0	常任役員会・三役会・事務打ち合わせ他
懇 親 会 費	150,000	150,000	0	大学との懇談会、新旧事務局長歓送迎会他費用
慶 弔・渉 外 費	600,000	600,000	0	慶弔費・他学部校友会等お祝い金
総 務 部 活 動 費				
組 織 部 活 動 費				
広 報 部 活 動 費	100,000	100,000	0	各部活動費
財 務 部 活 動 費				
渉 外 部 活 動 費				
雑 費	50,000	50,000	0	振込手数料他
本 部 校 友 会 負 担 金	470,000	470,000	0	本部校友会 令和3年度負担金30万円 本部役員会費17万円
ホ ー ム ペ ー ジ 費	700,000	100,000	600,000	独自ドメイン・レンタルサーバ代、ホームページ改修費
130周年記念事業募金	100,000	100,000	0	日本大学130周年記念募金(平成24年度～平成34年度(令和4年度))
予 備 費	100,000	100,000	0	その他
校友会創立50周年積立金	300,000	100,000	200,000	校友会50周年記念事業用
小 計	14,700,000	13,900,000	800,000	
次 期 繰 越 金	3,322,000	3,262,596	59,404	次年度当初本部運営費
合 計	18,022,000	17,162,596	859,404	

【 特 別 会 計 】

項 目	金 額		摘 要
積立金	第30期繰入積立金	1,000,000	ゆうちょ銀行定額貯金 令和5年9月満期
積立金	創立50周年積立金	700,000	第37,38期創立50周年準備金 令和3年4月満期
積立金	創立50周年積立金	300,000	創立50周年準備金 令和3年度予算支出より組み入れ
合 計	2,000,000		